



地域医療と空き家対策について視察しました

**市民生活委員会**

日時 令和元年5月8・9日  
場所 島根県益田市・浜田市

益田市では、医師負担や市民の不安の解消のための「地域医療に対する取り組み」を視察しました。益田市では、地域医療の確保と充実のために「益田市地域医療推進条例」が制定されており、市が病院・医師会などの医療関係者や市民団体と連携し、意見交換会や、実習生などの人材育成を行っています。

また「シングルペアレント（母子家庭・父子家庭）」対策も調査しました。増加している母子家庭の半数以上が非正規雇用であり、地域で不足している介護人材の確保のため「シングルペアレント支援」を行っています。他市からの移住定住と併せて、研修や就労による個々のキャリアアップも目的としています。今後は介護関係の職種も検討しているそうです。

また「空き家バンク」の利用は、市内での移住も認め、不動産業者が介在することで契約上のトラブルを回避できるようになっています。



益田市での研修の様子



浜田市での研修の様子

また「シングルペアレント（母子家庭・父子家庭）」対策も調査しました。増加している母子家庭の半数以上が非正規雇用であり、地域で不足している介護人材の確保のため「シングルペアレント支援」を行っています。他市からの移住定住と併せて、研修や就労による個々のキャリアアップも目的としています。今後は介護関係の職種も検討しているそうです。



平成30年豪雨で被害にあった上下水道施設を確認しました

**産業経済委員会**

日時 令和元年5月13日

平成30年7月豪雨から約1年が経過し、今年の出水期を控え、昨年の各上下水道施設の被災状況の説明を受けるとともに、対応状況について現地において質疑応答が行われました。

上水道・簡易水道関係では、阿部地域の上水道第3水源池、川面地域の川面巨瀬簡易水道川面第2水源池、下水道関係では、高梁浄化センター、高梁雨水ポンプ場を視察しました。

委員からは、昨年の断水が長期にわたり、市民生活に多大な影響があったことを踏まえ、各施設の復旧状況の確認と、特に浸水対策を中心とした質疑応答が行われました。



阿部地域にある上水道第3水源池



川面巨瀬簡易水道川面第2水源池

**高梁市の動物愛護の基本方針を問う**

**答弁：**  
動物愛護の法律の事務の多くは主として都道府県にあり、市としては必要な協力を行う

**森上 昌生** 議員

ここを  
ぎきました

- 動物愛護について
- 高梁市の観光戦略について

**地域猫対策になぜ積極的に取り組まないのか**

**森上** 環境省の指針にもある地域猫活動に、市はなぜ積極的に取り組まないのか。

**市民生活部長** 動物愛護センターと連携して啓発活動を行っている。県の支援の施策を活用してほしい。

**森上** 市民の理解を得るため、市に仲介者としての役割を求める。

**市民生活部長** 市民の理解のためにも啓発活動は必要だ。愛護活動には敬意を表すが、さらに活動を高めて欲しい。

**池上邸の取扱いについて**  
**森上** 池上邸の今後の取扱いについて、市はどう考えているのか。

**産業経済部長** 現状では市が購入することは困難だ。

**副市長** 所有者の方々と、円満な解決に向けての努力はしていきたい。

**森上** ピースワンコ・ジャンプの施設に対して、管理上の問題点が指摘されているが、高梁の施設では、問題が起る恐れはないのか。

**市民生活部長** 施設を視察したが、問題は見受けられなかった。

**森上** 再度、実態の調査をしてほしい。

**市民生活部長** 今後も、市としては施設に注視していきたい。



議員が聞きます、市政の疑問点 /

**一般質問**

6月議会の一般質問では、18名の議員のうち10名が執行部に対して質問しました。本年3月に「高梁市復興計画」が策定されたのをうけて、今後計画をどのように実現させていくのかという観点からの質問、また、ダムの事前放流、防災ラジオ、ため池管理、災害時の職員体制等、多くの議員が防災対策について取り上げました。また、社会的に問題になっている子どもたちの通学通園や園外保育での安全性の確保、児童虐待、若者から中高年層にまでひろがっているいわゆる「ひきこもり」など、生活を取り巻く問題についても質問しました。